

安八の昔話

143

西蚊塚地区

文 日本児童文学者協会会員

小森 波鐘子

無駄のない先人の知恵

藁で編んだ足な草履の大きさは足の裏の半分ぐらいで軽いし、道がどろんこでも跳ねはあがらんし、それに足にピッタリくっつくので歩きやすいんやさ。踵を少しあげながら歩くので足の裏に心地いい刺激がある。

大人も子どももみんな履いたわな。

草履を履くのは人間だけやなかった。

牛を遠くにつれて行く時は爪がすり

減ってまうもんでかならず草履を履かせた。

指斐で開催される牛の品評会の会場へ

は、はるばる堤防を歩いて行つたんやさ。

新聞の広告を見ておどろいた。

足な草履の類似品が商品化され健康グッズになつていた。素材が全くちがっても、世代が交代しても足な草履は勝れものである。



協力者

岩田 豊さん (84歳)

ちょっと寄り道『安八町』

くスポーツで健康寿命アップを!! 健康ふれあいドームく

健康ふれあいドームは、安八温泉に隣接し、面積約1,007平方メートルの砂入り人工芝のコートがあります。

天候に関係なく、ゲートボール・テニス・バレーボール・バドミントン・ペタンクなどの各種競技に利用でき、リフレッシュや健康維持増進の場として多くの方に利用されています。

◆場所 安八町中須202
◆問い合わせ先

☎64・5533



▲ 健康ふれあいドーム (上)・ドームで爽やかな汗とともにスポーツを楽しむ利用者 (下)

ドームで一汗かいて、温泉に入り、リフレッシュしてみませんか?